



## 2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東  
 コード番号 7776 URL <https://www.cellseed.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 畑中 格 TEL 03-6380-7490  
 定時株主総会開催予定日 2024年3月26日 配当支払開始予定日 ー  
 有価証券報告書提出予定日 2024年3月27日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年12月期の業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

#### （1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	190	50.4	△697	—	△710	—	△846	—
2022年12月期	126	△21.8	△743	—	△754	—	△759	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	△29.43	—	△51.4	△35.4	△367.0
2022年12月期	△36.31	—	△69.8	△51.1	△587.9

（参考）持分法投資損益 2023年12月期 ー百万円 2022年12月期 ー百万円

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	2,465	2,164	86.9	68.08
2022年12月期	1,543	1,178	74.8	47.26

（参考）自己資本 2023年12月期 2,141百万円 2022年12月期 1,154百万円

#### （3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	△779	56	1,814	2,163
2022年12月期	△718	61	881	1,072

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	70	4.5	△490	—	△490	—	△510	—	△16.21
通期	170	△10.5	△920	—	△920	—	△940	—	△29.88

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期	31,459,019株	2022年12月期	24,422,619株
② 期末自己株式数	2023年12月期	156株	2022年12月期	155株
③ 期中平均株式数	2023年12月期	28,760,474株	2022年12月期	20,923,295株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 次期の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態、キャッシュ・フローの概況 .....	3
(3) 今後の見通し .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### （1）経営成績に関する分析

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による行動制限の緩和やインバウンド需要の回復、賃金上昇を中心とした雇用環境の改善による個人消費の回復などの要因から、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、長期化するウクライナ情勢に加え、中東情勢の緊迫化、原材料やエネルギー価格の高騰などによる物価の上昇等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社はこのような環境の下、コスト削減による財務体質の改善と安定的な財務基盤の確立を図りつつ、再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。

この結果、当事業年度における売上高は190,134千円（前事業年度比50.4%の増加）、営業損失は697,776千円（前事業年度比45,438千円の減少）、経常損失は710,276千円（前事業年度比43,997千円の減少）、当期純損失は846,534千円（前事業年度比86,853千円の増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①再生医療支援事業（細胞培養器材、製造受託など）

細胞培養器材事業では、器材製品の拡販に向けた既存代理店との協業強化、2023年3月開催の第22回再生医療学会総会への付設展示会に当社ブースを出展するなど、当社器材製品の積極的な販売促進活動の結果、特に海外売上が前年比大幅に増加し、器材事業としては過去最高の売上を達成することが出来ました。

今後は、主要販売代理店からの売上情報等の収集分析などにより、より慎重な判断のもとで既存製品の販売だけでなく、顧客ニーズ、市場動向に合致した新製品開発のための研究開発に注力し、新規の顧客を獲得できるよう努めてまいります。

再生医療受託事業では、再生医療等安全性確保法に基づき特定細胞加工物製造許可を取得した細胞培養センター（CPC）において、主に細胞シートの製造を受託しております。当事業年度においても、先進医療の治療が行われている共同研究先の東海大学から、自己軟骨細胞シートの製造を年間7症例受託した結果、受託事業も過去最高の売上を達成することが出来ました。

また、当社の知名度及び日本発、世界初の「細胞シート工学」の認知度向上のため、2019年、2021年に続き、2023年11月には、当社主催の第3回細胞シート工学イノベーションフォーラムを開催いたしました。全国から多数のアカデミア及び企業からの参加があり、「細胞シート工学」やその周辺技術に関わる活発な議論が展開されました。事業提携、協業、製造受託などの新たな取引先の開拓も期待できることから、第4回目の細胞シート工学イノベーションフォーラムは2025年に開催する予定であります。

以上のような結果、当事業年度における売上高は182,334千円（前事業年度比66,320千円の増加）、営業損失は32,438千円（前事業年度比57,870千円の減少）となりました。

#### ②細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、同種軟骨細胞シートの再生医療等製品の自社開発を中心とした研究開発を継続して推進しております。

食道再生上皮シートについては、2020年10月に治験届を提出後、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）から受けた細胞シートの製造方法に関する指摘への対応を検討してまいりました。しかし、PMDAと相談を重ねた結果、製造方法の改良には、製造方法変更前後の同等性の評価のために治験期間が延長の見通しとなり、事業性への懸念が生じたため、高い成長と収益性が見込める同種軟骨細胞シート開発に経営資源を集中することを目的として、治験の中止及び食道再生上皮シートの開発を中断することと致しました。

同種軟骨細胞シートは、「同種軟骨細胞シート（CLS2901C）の製品化に向けたセルバンク構築を含む企業治験開始のための研究開発」について、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の支援を受けながら開発を進めた結果、企業治験に使用する同種軟骨細胞シートを製造するための原料として、有効性と安全性を確認したマスターセルバンクを確立することができました。2023年9月20日には、同種軟骨細胞シート（CLS2901C）の第3相試験の治験届をPMDAに提出し、その後、PMDAによる治験届の30日調査が終了しました。現在、各治験実施施設での倫理審査（IRB）、治験実施契約締結を進めておりますが、手続きに時間を要しており、現時点では2024年の上半期中に被験者登録が始まる見通しです。

事業提携活動につきましては、事業化の加速、また将来の同種軟骨細胞シートの販売に向けて、引き続き複数の会社との事業提携及び共同研究契約の締結に向けた活動を積極的に行っております。なお、2023年12月18日に公表のとおり、独占的事業提携契約を締結しておりました「三顧股份有限公司（MetaTech（AP） Inc.）」と契約関係を解消しましたが、今後も、引き続き新規の提携契約を獲得できるように努めてまいります。

以上のような活動の結果、売上高は7,799千円（前事業年度比2,614千円の減少）、営業損失は468,691千円（前事業年度比5,711千円の増加）となりました。

## （2）財政状態に関する分析

### （資産）

当事業年度末の流動資産は、前事業年度末に比べて1,119,873千円増加し、2,351,811千円となりました。これは、原材料及び貯蔵品が9,068千円減少した一方で、現金及び預金が1,091,081千円増加したことなどによります。

当事業年度末の固定資産は、前事業年度末に比べて198,025千円減少し、113,957千円となりました。これは、投資有価証券が19,788千円増加した一方で、関係会社株式が119,478千円、有形固定資産が98,334千円減少したことなどによります。

この結果、当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べて921,847千円増加し、2,465,768千円となりました。

### （負債）

当事業年度末の流動負債は、前事業年度末に比べて57,126千円減少し、123,569千円となりました。これは、未払金が44,015千円増加した一方で、前受金が121,648千円減少したことなどによります。

当事業年度末の固定負債は、前事業年度末に比べて7,409千円減少し、177,478千円となりました。これは、長期借入金が7,500千円減少したことなどによります。

この結果、当事業年度末の負債合計は、前事業年度末に比べて64,535千円減少し、301,047千円となりました。

### （純資産）

当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末に比べて986,383千円増加し、2,164,721千円となりました。これは、当期純損失を846,534千円計上した一方で、新株予約権の行使による株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ916,934千円増加したことなどによります。

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末に比べて1,091,081千円増加し、2,163,292千円となりました。当事業年度に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動に使用した資金は779,435千円（前事業年度比61,428千円の支出増）となりました。これは、税引前当期純損失を845,584千円計上したことなどによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動の結果獲得した資金は56,315千円（前事業年度比5,413千円の収入減）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出21,632千円、関係会社株式の売却による収入75,820千円などによるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動の結果獲得した資金は1,814,201千円（前事業年度比932,386千円の収入増）となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,819,700千円などによるものです。

## （3）次期の見通し

再生医療支援事業では、引き続き器材製品を中心に特に海外の販売の拡大を図って参ります。また、再生医療に関わる総合的なサポートを通じて、再生医療の研究開発・事業化を支援する再生医療受託製造等を推進いたします。これらを通してセグメント売上高170百万円を見込んでおります。

細胞シート再生医療事業では、同種軟骨細胞シートなどの開発の推進して参ります。当該開発には引き続き研究開発費を要する見込となっております。また当社パイプラインの技術導出に向け新規事業先候補とも積極的に交渉を重ねてまいります。

これらの施策の結果として次期は、売上高は170百万円、営業利益は△920百万円、経常利益は△920百万円、当期純利益は△940百万円を見込んでおります。

（4）継続企業の前提に関する重要事象等

当社の当事業年度末の手元資金（現金及び預金）残高は2,163,292千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておらず、当社は当事業年度末において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社は当該状況の解消を図るべく、以下の施策に取り組んで参ります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社は、今後、同種軟骨細胞シートなどの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針です。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当事業年度 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,072,210	2,163,292
売掛金	25,775	51,871
商品及び製品	19,757	15,398
仕掛品	836	4,289
原材料及び貯蔵品	35,573	26,504
前渡金	3,299	7,612
前払費用	21,550	20,540
未収消費税等	45,210	62,302
その他	7,724	—
流動資産合計	1,231,937	2,351,811
固定資産		
有形固定資産		
建物	98,745	25,964
機械及び装置	2,286	2,286
工具、器具及び備品	62,940	41,706
減価償却累計額	△65,637	△69,957
有形固定資産合計	98,334	—
投資その他の資産		
投資有価証券	—	19,788
関係会社株式	119,478	—
その他	94,169	94,169
投資その他の資産合計	213,648	113,957
固定資産合計	311,983	113,957
資産合計	1,543,920	2,465,768
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	394	3,778
未払金	29,495	73,510
1年内返済予定の長期借入金	7,500	7,500
未払費用	10,469	9,759
未払法人税等	—	15,600
賞与引当金	3,384	4,064
前受金	121,648	—
預り金	7,803	9,354
流動負債合計	180,695	123,569
固定負債		
長期借入金	151,250	143,750
資産除去債務	33,637	33,728
固定負債合計	184,887	177,478
負債合計	365,582	301,047

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当事業年度 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,467,377	2,384,311
資本剰余金		
資本準備金	446,957	1,363,892
資本剰余金合計	446,957	1,363,892
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△759,680	△1,606,214
利益剰余金合計	△759,680	△1,606,214
自己株式	△227	△227
株主資本合計	1,154,427	2,141,761
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△321	—
評価・換算差額等合計	△321	—
新株予約権	24,232	22,959
純資産合計	1,178,338	2,164,721
負債純資産合計	1,543,920	2,465,768

## （2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）	当事業年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）
売上高	126,427	190,134
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	24,315	19,757
当期商品仕入高	17,749	7,670
当期製品製造原価	46,396	76,952
合計	88,461	104,379
他勘定振替高	3,295	6,001
商品及び製品期末棚卸高	19,757	15,398
売上原価合計	65,408	82,979
売上総利益	61,019	107,154
販売費及び一般管理費		
研究開発費	444,759	456,414
その他	359,474	348,516
販売費及び一般管理費合計	804,234	804,931
営業損失（△）	△743,215	△697,776
営業外収益		
受取利息	10	13
為替差益	1,531	—
受取手数料	193	109
還付加算金	12	59
受取支援金収入	—	400
その他	63	11
営業外収益合計	1,811	593
営業外費用		
支払利息	835	1,128
為替差損	—	46
新株発行費	12,034	11,918
営業外費用合計	12,869	13,093
経常損失（△）	△754,274	△710,276
特別利益		
新株予約権戻入益	2,502	912
関係会社株式売却益	—	15,759
特別利益合計	2,502	16,671
特別損失		
減損損失	3,490	112,028
投資有価証券評価損	—	39,950
関係会社清算損	3,467	—
特別損失合計	6,958	151,979
税引前当期純損失（△）	△758,730	△845,584
法人税、住民税及び事業税	950	950
法人税等合計	950	950
当期純損失（△）	△759,680	△846,534

## 製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)		当事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費		26,653	57.4	56,513	70.3
II 労務費		4,669	10.0	6,155	7.7
III 経費		15,146	32.6	17,735	22.0
当期総製造費用		46,469		80,404	
期首仕掛品棚卸高		763		836	
合計		47,233		81,241	
期末仕掛品棚卸高		836		4,289	
当期製品製造原価		46,396		76,952	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)
業務委託費	6,882	7,510
消耗品費	3,850	3,914
水道光熱費	2,162	3,012

(原価計算の方法)

原価計算の方法は、個別原価計算によっております。

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

(単位：千円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	4,548,657	1,770,454	—	1,770,454	△5,298,692	△5,298,692	△227	1,020,191	
当期変動額									
新株の発行（新株予約権の行使）	446,957	446,957		446,957				893,915	
減資	△3,528,238	△1,770,454	5,298,692	3,528,238				—	
欠損填補			△5,298,692	△5,298,692	5,298,692	5,298,692		—	
当期純損失（△）					△759,680	△759,680		△759,680	
自己株式の取得							△0	△0	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	△3,081,280	△1,323,496	—	△1,323,496	4,539,012	4,539,012	△0	134,235	
当期末残高	1,467,377	446,957	—	446,957	△759,680	△759,680	△227	1,154,427	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△321	△321	24,757	1,044,627
当期変動額				
新株の発行（新株予約権の行使）				893,915
減資				—
欠損填補				—
当期純損失（△）				△759,680
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△525	△525
当期変動額合計	—	—	△525	133,710
当期末残高	△321	△321	24,232	1,178,338

当事業年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	1,467,377	446,957	—	446,957	△759,680	△759,680	△227	1,154,427
当期変動額								
新株の発行（新株予約権の行使）	916,934	916,934		916,934				1,833,868
当期純損失（△）					△846,534	△846,534		△846,534
自己株式の取得							△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	916,934	916,934	—	916,934	△846,534	△846,534	△0	987,334
当期末残高	2,384,311	1,363,892	—	1,363,892	△1,606,214	△1,606,214	△227	2,141,761

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△321	△321	24,232	1,178,338
当期変動額				
新株の発行（新株予約権の行使）				1,833,868
当期純損失（△）				△846,534
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	321	321	△1,272	△950
当期変動額合計	321	321	△1,272	986,383
当期末残高	—	—	22,959	2,164,721

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純損失 (△)	△758,730	△845,584
減価償却費	7,891	7,939
減損損失	3,490	112,028
受取利息	△10	△13
支払利息	835	1,128
株式報酬費用	1,297	—
新株発行費	12,034	11,918
新株予約権戻入益	△2,502	△912
関係会社清算損益 (△は益)	3,467	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△15,759
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	39,950
売上債権の増減額 (△は増加)	2,388	△26,095
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,628	9,974
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	19,631	△20,387
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,628	3,384
未払金の増減額 (△は減少)	△40,215	43,904
前受金の増減額 (△は減少)	86,982	△121,648
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,102	680
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△29,580	22,026
小計	△713,379	△777,465
利息の受取額	8	11
利息の支払額	△837	△1,032
法人税等の支払額	△3,798	△948
営業活動によるキャッシュ・フロー	△718,006	△779,435
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,590	△21,632
関係会社の整理による収入	77,318	2,127
関係会社株式の売却による収入	—	75,820
投資活動によるキャッシュ・フロー	61,728	56,315
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,250	△7,500
新株予約権の行使による株式の発行による収入	880,765	1,819,700
新株予約権の発行による収入	2,299	2,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	881,814	1,814,201
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	225,536	1,091,081
現金及び現金同等物の期首残高	846,674	1,072,210
現金及び現金同等物の期末残高	1,072,210	2,163,292

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当事業年度において資本金及び資本剰余金がそれぞれ916,934千円増加しており、当事業年度末において資本金が2,384,311千円、資本剰余金が1,363,892千円となっております。

（持分法損益等）

前事業年度（2022年12月31日）

当社が有しているすべての関連会社は、利益基準等からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。

当事業年度（2023年12月31日）

当社が有しているすべての関連会社は、利益基準等からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。なお、当社は当該関連会社株式の一部を譲渡したことにより、当事業年度末時点において当社が保有する関連会社株式はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業領域の核を「再生医療」として、国内・海外で再生医療支援事業、細胞シート再生医療事業の活動を展開していることから、「再生医療支援事業」及び「細胞シート再生医療事業」の2つを報告セグメントとしております。

「再生医療支援事業」では、温度応答性細胞培養器材等の研究開発・製造・販売を中心に行っており、「細胞シート再生医療事業」では、現在、細胞シート再生医療等製品の研究開発を中心に行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額（注） 1, 2, 3, 4	財務諸表計上 額（注）5
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	116,013	10,414	126,427	—	126,427
セグメント間の内部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—
計	116,013	10,414	126,427	—	126,427
セグメント損失（△）	△90,308	△462,979	△553,288	△189,927	△743,215
セグメント資産	195,771	81,580	277,351	1,266,569	1,543,920
セグメント負債	36,602	139,270	175,873	189,709	365,582
その他の項目					
減価償却費	7,891	—	7,891	—	7,891
有形固定資産及び無形固定資産の増 加額	563	—	563	3,490	4,054

(注) 1 セグメント損失（△）の調整額△189,927千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に本社の経営企画部門などに係る費用であります。

2 セグメント資産の調整額1,266,569千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余資運用資金及び経営企画部門などに係る資産であります。

3 セグメント負債の調整額189,709千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に未払金、未払法人税、長期借入金などであります。

4 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額3,490千円は、報告セグメントに帰属しない本社などの設備投資額であります。

5 セグメント損失（△）は、損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1, 2, 3, 4	財務諸表計上 額 (注) 5
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	182,334	7,799	190,134	—	190,134
セグメント間の内部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—
計	182,334	7,799	190,134	—	190,134
セグメント損失 (△)	△32,438	△468,691	△501,129	△196,647	△697,776
セグメント資産	132,875	65,349	198,225	2,267,543	2,465,768
セグメント負債	41,391	58,935	100,327	200,720	301,047
その他の項目					
減価償却費	7,939	—	7,939	—	7,939
有形固定資産及び無形固定資産の増 加額	770	—	770	20,862	21,632

(注) 1 セグメント損失 (△) の調整額△196,647千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に本社の経営企画部門などに係る費用であります。

2 セグメント資産の調整額2,267,543千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余資運用資金及び経営企画部門などに係る資産であります。

3 セグメント負債の調整額200,720千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に未払金、未払法人税、長期借入金などであります。

4 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額20,862千円は、報告セグメントに帰属しない本社などの設備投資額であります。

5 セグメント損失 (△) は、損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 【関連情報】

前事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧州	アジア	米国	合計
76,467	43,146	6,813	—	126,427

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州・・・・・・デンマーク

アジア・・・・・・台湾

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
フナコシ（株）	49,823	再生医療支援事業
Thermo Fisher Scientific Inc.	43,146	再生医療支援事業
学校法人東海大学	10,954	再生医療支援事業

当事業年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧州	アジア	米国	合計
70,900	112,350	6,882	—	190,134

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州・・・・・・デンマーク

アジア・・・・・・台湾

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
Thermo Fisher Scientific Inc.	112,350	再生医療支援事業
フナコシ（株）	37,618	再生医療支援事業
学校法人東海大学	25,777	再生医療支援事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

(単位：千円)

	再生医療支援事業	細胞シート再生医療事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	3,490	3,490

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

当事業年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

(単位：千円)

	再生医療支援事業	細胞シート再生医療事業	全社・消去	合計
減損損失	91,165	—	20,862	112,028

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

該当事項はありません。

## （1株当たり情報）

前事業年度 （自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）		当事業年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）	
1株当たり純資産額	47円26銭	1株当たり純資産額	68円08銭
1株当たり当期純損失（△）	△36円31銭	1株当たり当期純損失（△）	△29円43銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。	

（注） 算定上の基礎

## 1 1株当たり純資産額

	前事業年度 （2022年12月31日）	当事業年度 （2023年12月31日）
純資産の部の合計額（千円）	1,178,338	2,164,721
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	24,232	22,959
（うち新株予約権）（千円）	(24,232)	(22,959)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	1,154,105	2,141,761
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（千株）	24,422	31,459

## 2 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益

	前事業年度 （自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）	当事業年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）
1株当たり当期純損失		
当期純損失（△）（千円）	△759,680	△846,534
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純損失（△）（千円）	△759,680	△846,534
普通株式の期中平均株式数（千株）	20,923	28,760
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第14回 850個 第15回 80個 第17回 340個 第20回 1,200個 第21回 749個	第14回 650個 第15回 80個 第17回 340個 第21回 687個

## （重要な後発事象）

記載事項はありません。